

2025年度 第6回治験審査委員会
【会議の記録の概要】

開催日時 開催場所	2025年10月15日 15時30分 ~ 16時00分 病院3階 中会議室
出席委員名	橋本 章司、片岡 葉子、古井 孝彰、鈴木 秀和、上田 佳世、飯尾 麗、 松野 治、豊田 充代、山東 真寿美、岩田 浩幸、長瀬 泰子、川畑 慶治、 望月 千枝、三田 博道
欠席委員名	吉田 之範、榎本 かおり
議題及び審議 結果を含む主 な議論の概要	<p>議題1. アストラゼネカ社の依頼による切除可能非小細胞肺癌患者に対する治療として、ネオアジュvant／アジュvant療法におけるデュルバルマブ投与を評価する第Ⅲ相試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果: 承認</p> <p>・鈴木 秀和委員、上田 佳世委員、岩田 浩幸委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題2. アッヴィ合同会社の依頼によるTelisotuzumab Vedotin(ABBV-399) の第Ⅲ相試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果: 承認</p> <p>・鈴木 秀和委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題3. A Randomized, Multicenter, Open-label, Phase III Study of Lurbinectedin Single-Agent or Lurbinectedin in Combination with Irinotecan versus Investigator's Choice (Topotecan or Irinotecan) in Relapsed Small Cell Lung Cancer (SCLC) Patients (LAGOON Trial) 再発小細胞肺癌(SCLC)患者を対象とした、Lurbinectedin単剤投与又はLurbinectedinとイリノテカンの併用投与を、治験担当医師が選択したトポテカン又はイリノテカンの対照群と比較する無作為化、多施設共同、非盲検、第Ⅲ相試験(LAGOON試験)</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果: 承認</p> <p>・鈴木 秀和委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題4. 中外製薬株式会社の依頼による癌患者を対象としたアテゾリズマブの継続試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果: 承認</p> <p>・鈴木 秀和委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p>

議題5. A study to assess toripalimab alone or in combination with tifcemalimab as consolidation therapy in patients with limited-stage small cell lung cancer (LS-SCLC)
限局型小細胞肺がん(LS-SCLC)患者におけるToripalimab単剤療法またはToripalimab+Tifcemalimab併用療法を用いた地固め療法の評価

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

・鈴木 秀和委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題6. 日本新薬株式会社の依頼によるNS-229の第2相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

・松野 治委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題7. 中等症から重症の青少年及び成人アトピー性皮膚炎患者におけるステロイド外用薬併用下のウパダシチニブの第Ⅲ相無作為化プラセボ対照二重盲検試験 A Phase 3 Randomized,Placebo-Controlled,Double-Blind Study to Evaluate Upadacitinib in Combination with Topical Corticosteroids in Adolescent and Adult Subjects with Moderate to Severe Atopic Dermatitis

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題8. 協和キリン株式会社(治験国内管理人)の依頼による成人及び青少年アトピー性皮膚炎患者を対象としたAMG451の第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果: 承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題9. グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による中等度から重度のアトピー性皮膚炎患者を対象としたGSK1070806の長期延長試験

終了報告

議題10. アトピー性皮膚炎成人患者を対象としたamlitelimumabの長期安全性及び有効性を検討する長期継続投与試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果: 承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題11. 中等症から重症のアトピー性皮膚炎を有する18歳以上の患者を対象とした皮下投与によるamlitelimumab単剤療法の有効性及び安全性をプラセボと比較検討する試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果: 承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題12. 基礎治療として外用ステロイド薬を使用している中等症から重症のアトピー性皮膚炎を有する18歳以上の患者を対象とした皮下投与によるamlitelimumabの有効性及び安全性を検討する試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果: 承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題13. 生物学的製剤又は経口ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害薬による前治療では効果不十分であり基礎治療として外用ステロイド薬により治療中の中等症から重症のADを有する12歳以上の患者を対象としたamlitelimumab皮下投与の有効性及び安全性を検討する試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題14. 中等症から重症のアトピー性皮膚炎を有する12歳以上の患者を対象とした皮下投与によるamlitelimumabの2つの用法・用量の治療効果及び安全性を投与中止と比較検討する試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題15. 原因不明の慢性そう痒症(CPUO)を有する成人被験者の治療におけるデュピルマブ皮下投与の有効性及び安全性(LIBERTY-CPUO-CHIC)

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題16. 日本イーライリリー株式会社の依頼による中等症から重症のアトピー性皮膚炎を対象としたレブリキズマブの第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題17. 日本イーライリリー株式会社の依頼による中等症から重症のアトピー性皮膚炎を対象としたレブリキズマブの第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題18. ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による慢性刺激誘発性蕁麻疹(CINDU)を対象としたLOU064の第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題19. ファイザー株式会社の依頼による、尋常性白斑患者を対象としたPF-06651600(リトレシチニブ)の第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題20. nemolizumabの乳幼児及び小児アトピー性皮膚炎患者を対象とした第Ⅲ相試験—比較/長期継続投与試験—

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題21. nemolizumabの原因不明の慢性そう痒症に対する第Ⅱ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題22. 中等症から重症のアトピー性皮膚炎の患者を対象としたJNJ-95475939の有効性及び安全性を評価する多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、用量設定、第2b相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員、山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題23. ファイザー株式会社の依頼による健康な妊婦及びその乳児を対象としたPF-06760805(B群溶血性連鎖球菌ワクチン)を検討する第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

迅速審査の報告

・山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題24. TO-209 第Ⅲ相臨床試験

-イネ科花粉症患者を対象とした有効性及び安全性の検討-

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題25. 日本イーライリリー株式会社依頼の鼻腔内ステロイド治療を受けてる鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎患者を対象としてLY3650150(レブリキズマブ)の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・山東 真寿美委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題26. Gel-Oneの変形性股関節症患者を対象とした多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照第Ⅲ相比較試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認